

親父には縁がなかったけど……

中島智子

福岡県・三一・英会話講師

あなたはとても優しい人。それは前から十分すぎる程わかっていました。でもその優しさの奥深さを知ったのは、父との悲しい別れの頃でした。

父が意識不明で倒れたその時、あなたはこう言ってくれました。「俺のことは心配しなくていいから、悔いの残らないように看病しなさい」。

そして野菜や肉など、家中の食料をひとまとめにし、封もあけていない給料袋とともに持たせてくれました。看病するほうが疲れてしまったら大変だから、しっかり食べなさい、と。

奇跡的に回復した父を、母と交代で付添看護することもできました。五カ月の間、あなたは毎週毎週、隣県の病院まで訪ねてきてくれましたね。父をはげますために。

「お父さん、早く良くなって、智子を僕に返してくださいよ」「お父さん、米の飯食わんと元気がでませんよ」。あなたが来てくれた後、父はどんなに食欲がなくても無

理して食事をとっていましたよ。

いよいよ危いという時、仕事を早目にきりあげてかけつけてくれましたね。そして意識がなくなつて冷たくなつていく父の手をずっとさすって温めようとしてくれました。最期を妻と子供二人、そして義理の息子から看取られた父は、きっと幸せだったことでしょう。

「俺は親父に縁がないな」。あなたのさびし気な言葉が忘れられません。そう、あなたのお父さんも九年前に亡くなったんですね。くしくも父と同じ六五歳で。

私と同様に、あるいはそれ以上私の実家の家族を愛してくれるあなた。時間がある時はひとりでも、私の実家へ遊びに行ってくれるあなた。「お母さんは俺のこと、信頼しきってるよ」と自慢するあなた。最高の夫であるとともに、最高の家族です。幸せになりましたよね。

「親父には縁がなかったけど妻には恵まれた」。きっとあなたにこう言わせてみせます。